



メマイについて

メマイは非常に発症頻度の高い症状の一つで、ほとんどの人は今までに経験が有ると思います。また症状にもいろいろな種類が有ります。回転性のメマイから、身体不安定感、立ちくらみ様のメマイ等々いろいろ有ります。さらに随伴症状として嘔気、嘔吐、頭痛、四肢のしびれ、脱力などいろいろ有ります。実際メマイが発症した時、何科を受診したら良いのか迷う場合も少なくないと思います。メマイは耳の病気（内耳障害）や中枢神経の病気（脳血管障害）など、原因は極めて多いため、診断が難しいことも少なくありません。症状、メマイを来す病気、そんな時何科を受診するのかなどについて説明します。

メマイは教科書的には大きく分けて2つに分類されます。その分類に入らないものもあります。ここではそれらについて説明をします。

1)末梢性メマイ 内耳の前庭、前庭神経などの障害によるもの。症状は回転性を伴ういわゆる典型的なメマイで、嘔気、嘔吐を伴い、耳鳴、難聴などの症状を多く伴います。この場合は耳鼻科受診をお勧めします。病気には、メニエル氏病、薬物による障害、外傷性内耳障害、耳石障害（良性発作性頭位めまい症）炎症（中耳炎、迷路炎）突発性難聴、等々有ります。

2)中枢性メマイ 上記部位より高位の中枢神経の障害によるもの。症状は身体不安定感が主体のことが多いが、回転性の時もある。複視、四肢麻痺、しびれ、顔面のしびれ、麻痺など他の神経症状を合併することが多い。その一方耳鳴、難聴は伴わない。こんな場合には脳神経外科の受診をお勧めし

ます。病気には椎骨脳底動脈循環不全、椎骨脳底動脈系の閉塞、小脳出血、小脳梗塞、頭部外傷、脳腫瘍等々が有ります。

その他) 上記に分類できないのですが、いわゆるメマイを症状とする疾患には以下のようなものも有ります。起立性低血圧症、頸性メマイ（血流性、自律神経性、深部知覚性）また心身症としてのメマイ、パニック障害、熱中症、日射病、弱視性調節障害、更年期障害に伴うメマイ等々かなり有ります。受診科は脳神経外科、耳鼻科、内科、整形外科、眼科、婦人科、精神科、心療内科と多岐にわたります。

以上のようにメマイは症状、病気、診察科なども多岐にわたり、何科を受診するか迷ってしまうことも多いと思われまます。耳の症状を合併していれば耳鼻科、他の神経症状を合併していれば脳神経外科を受診して下さい。どちらの科も、鑑別診断をして必要があれば他科を紹介しますので、受診をあまり迷わないで下さい。

【広報おかや7月1日号掲載】

